がん種	食道がん
レジメン名	weeklyPTX

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日													
						1	…	8	…	15	…	22	…	29	…	36	…		49
1	生食注シリンジ	10mL	静注		フラッシュ用	○		○		○		○		○		○			
2	生理食塩液	250mL	点滴静注		ルートキープ用	○		○		○		○		○		○			
3	生理食塩液	100mL	点滴静注側管	30分		○		○		○		○		○		○			
	デキサート注射液1.65	6管																	
	ファモチジン注射用20	1管																	
	ポララミン注5mg	1管																	
4	生理食塩液	50mL	点滴静注側管		クリタキセル前フラッシュ	○		○		○		○		○		○			
5	生理食塩液	250mL	点滴静注側管	1時間	インラインフィルター使用（DEHPフリー）	○		○		○		○		○		○			
	パクリタキセル注射液	100mg/㎡																	
6	生食注シリンジ	10mL	静注		ロック用	○		○		○		○		○		○			

1コース期間
（次のコースまでの標準期間） 49日

総コース数 制限なし

休薬規定及び減量規定、中止基準

＜投与量・検査値の確認＞

白血球数または好中球数が以下の基準に当てはまれば、回復するまで投与を延期。白血球数が1,000/mm³未満となった場合には、次回の投与量を減量すること。

	白血球	好中球
各コースday1	3,000/mm³未満	1,500/mm³未満
day8以降	2,000/mm³未満	1,000/mm³未満

＜肝機能低下症例に対する減量の目安＞

AST・ALT		T-Bil	PTX投与量
10×ＵＬＮ未満	かつ	1.26～2.0×	25%減量
10×ＵＬＮ未満	かつ	2.01～5.0×	50%減量
10×ＵＬＮ以上	または	5.0×ＵＬＮ	中止

＜減量の目安＞

Grade4の好中球減少、発熱性好中球減少症、20,000/mm³未満の血小板減少、Grade3以上の非血液毒性による有害事象、Grade2以上の神経障害・関節痛・筋肉痛が発生した場合には次回の投与量を減量する。

通常	１段階減量	2段階減量
100ｍｇ/㎡	80ｍｇ/㎡	60ｍｇ/㎡

その他

＜パクリタキセル＞

アルコールに関する|溶解液にエタノールが含まれているためアルコールに過敏な患者は慎重投与。
自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意。

併用薬の確認ビタミンＡ、アゾール系抗真菌薬、マクロライド系抗生物質、ニフェジピン、シクロスポリン、
（代謝酵素がCYP2C8、CYP3A4であるためパクリタキセルの血中濃度が上昇）。